

# 子どもたちのあそびと学びの芽 ~夏~

令和3年11月  
幼保連携型認定こども園 大関保育園

大関保育園では一人ひとりの「やりたい!」「おもしろい!」「もっと!」という気持ちの芽生えや、自分たちで創りだす遊び、そこから得る学びを大切に保育しています。「やってみたい」と好きなことを見つけ、「おもしろい」と追求し「またやりたい」と満足いくまで楽しむ子どもたちの姿はとも生き生きとしています。

幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿の中から今回は「人との関わり」の育ちが見られたエピソードを紹介します。「人との関わり」とは、家族の言葉がけや触れ合いにより欲求が満たされ安心感を感じる、表情・発声・動きを優しく受けとめてもらい家族とのやりとりを楽しむ、思いや欲求をありのまま受けとめてもらい自分を肯定する気持ちを持つことです。色々な気持ちを経験しながら大きくなると、友だちとぶつかった時、相手の思いに気づき自分の気持ちに折り合いをつけようとする力を育みます。また、最後まであきらめずやろうとする経験を繰り返し、達成感を味わい自信を持って行動できる力も育みます。



初めてのおもちゃを出し「よいしょって行けるかな?」と渡ります。興味を持ったAくんがやって見せると、BくんもCくんも一歩ずつ枠に足を掛け進みます。バランスを崩しそうになると近くの友だちに体を寄せ「大丈夫かい?」と言わんばかりの表情で、Aくんを支えています。友だちの存在に気づき、一緒に過ごす中で関わりが深まり信頼関係が築かれているのだなと温かい気持ちになりました。言葉はなくても「あ〜!」と声を出して指を差したり笑いあいながら、子どもたちの中でコミュニケーションが成り立っているのだなと微笑ましく感じます。(0歳児)



8月に1人、9月に2人新しい友だちが入園してきました。在園児は、大泣きして登園する友だちに目を丸くして見えています。新入園児を抱くと、すかさず在園児も膝の上に乗れ甘えます。「もっと自分を見てほしい」という気持ちや「先生が取られてしまう」というやきもちの気持ちがあることを感じました。隔っこでこちらをうかがいながら「いつなら甘えてもいいかな?」と見ている子、大きな声で赤ちゃんの様に泣いたり、子どもたちは様々な方法で先生からの注目を集めようとしています。一人ひとりのスキンシップを大切にしながら、触れ合うことで信頼関係が築かれることを学びました。(0歳)



テラスで好きな遊びを楽しんでいた時、気の合うRちゃんとSちゃんが手を繋ぎお散歩ごっこを始めました。「行ってきまーす!」と言葉を交わしながら笑いあう二人。楽しそうな二人の姿をじっと見ていた子たちも手を繋ぎ始め…。みんなでお散歩ごっこが始まりました。音楽をかけるとより楽しそうな子どもたち。どんどん遊びが発展していき、最後にはみんな手を繋いでいましたよ。ただ歩いていただけですが、お友達と遊ぶ楽しさを十分に味わっていたようです。(1歳児)



登園後の異年齢児交流でお兄ちゃんやお姉ちゃんたちの真似をして作った色水でジュース屋さんをしました。お店屋さんごっこでお兄ちゃんたちが言っていたように「いらっしゃいませ〜」「何にしますか?」と自分たちが作った色水を自慢気に見せています。異年齢児とのかかわりの中で、様々なことを学んでいます。(2歳児)

ミニ園庭に咲いていた花を袋に入れて色水遊びをしました。「きれいな色だね〜」「何色になるかな?」と自分たちで水を入れながら友だちと一緒に作っています。友だちと思いや気持ちを共有しながら共に遊ぶ楽しさを味わっています。(2歳児)



鬼ごっこのような集団あそびが苦手で、参加できずに座り込んでしまう子がいました。その子に気づき「一緒にやろう。」と手を引いて誘ってくれる優しい姿が見られました。誘ってもらった子も気にかけてもらえたことでやってみようという姿が見られました。(3歳児)



美容室コーナーを用意すると、鏡の前で、お客さん役や美容師さん役になり「いらっしゃいませ。」「こんにちは。」「今日はどんな髪型にしますか。」と…。美容室でのやりとりが目に見えるようでした。働いている人のしぐさや言葉に興味を持ち、友だちと真似をして楽しんでいましたよ。(3歳児)



秋の遠足でゆりの里公園に行き、みんなでどんぐり拾いをしました。「あった!」「ここにもある。」と言いながら拾っていくうち「集まって〜!」というAさんの声で集合し、手を高く上げ「頑張るぞ!エイエイオー!」という掛け声が始まりました。みんな力を合わせてどんぐりをいっぱい拾おうとする姿がみられました。(4歳児)



園庭に出ると、山作りをしているRさん。お山作りをしている時「入れて。」とYさんがやって来ました。「いいよ〜」と。一緒に山作りを始め、土を掘って大きな山を作り上げていきます。「とんとんとすると固くなるよ」「じゃあ、とんとんしょっか。」と会話を楽しみながら山を作っていました。山作りという共通の目的に向けて考えたり、工夫したり、協力している姿が見られました。(4歳児)



異年齢でかかわることが増え「赤ちゃんの部屋行ってもいいか?」「あ、〇〇くんきたよーおいで。」と積極的に小さい子にかかわる姿が見られます。小さい子の手を取り、靴を持ってあげたり、くすぐり「あ、笑ったよ」と嬉しそうに接しています。自分が作っているおもちゃを壊されたり叩かれたりしても、決して怒りません。その姿から、今まで自分がしてもらったことをしてあげたり、保育者がしていることをよく見て真似しているのかなと思ひ、年長児らしい姿だと思います。(5歳児)



泥んこ遊びをしていると「ねえ!俺の手と足埋めてや。」と提案するS君。「いいよ、おい!みんな手伝ってや。」の声かけで数人が集まり協力して土をかけていきます。「まだ足見えてるよ、もっともっと!」と言いながら、共通の目的に向かって協力する姿が見られました。(5歳児)